

「抗がん剤の管理状況に関するアンケート」ご協力のお願い

日本医療機能評価機構 患者安全推進協議会（PSP）薬剤安全部会（以下、PSP 薬剤安全部会）では、昨年度より各施設の常備薬管理の状況を把握し、今後の病棟等における常備薬の適切な管理を行うための活動に繋げることを目的にアンケートを実施しています。本アンケートでは、前回の造影剤に続き、病棟、外来 等に常備薬として配置している場合も含め、抗がん剤の管理や運用方法についてお伺いいたします。

PSP 薬剤安全部会でいう「常備薬」とは、薬剤部門以外に配置され、薬剤師による調剤を介さずに各部署において使用することが可能な薬剤のことを指します。たとえ処方箋・注射箋（オーダー入力）による使用であっても薬剤師の調剤を介さずに使用できる配置状態（病棟のサテライトファーマシーなども含む）であれば同義とします（救急カートも含む）。

本アンケートでお答えになった内容については集計結果を公開いたしますが、病院名および回答者が特定できないようにいたします。

なお、PSP 薬剤安全部会は、病院機能評価事業とは独立した活動であり、本アンケートの回答が（公財）日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の受審・判定において過去および将来にわたり一切影響いたしませんことを申し添えます。

2021 年 8 月 27 日

日本医療機能評価機構患者安全推進協議会（PSP）薬剤安全部会
部会長 川井 信孝

回答方法

Web上の回答フォームにてご提出ください。

アクセス方法協議会ホームページURL：<https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/>

「新着情報」または、TOP＞協議会案内＞お知らせ



回答期限 **2021年10月15日（金）まで**

- *アンケートは最大で52問、所要時間は10～15分程度を想定しています。
- *途中保存ができませんので、お時間に余裕があるときにご回答ください。

抗がん剤（内服・注射）の採用・管理状況についてお伺いします。

【①抗がん剤を使用していますか？】

- ☐ はい
- ☐ いいえ（→アンケート終了です）

【②抗がん剤の採用状況についてお伺いします。】

②-1 採用の審議をする委員会はどこですか？（複数回答可）

- ☐ 薬事委員会・審議会
- ☐ 医療安全委員会
- ☐ 倫理委員会
- ☐ 化学療法委員会
- ☐ その他（ ）
- ☐ ない

②-2 新規に採用する際の要件や制限などがありますか？

- ☐ 有用性が担保されていること（既採用医薬品で代替不可）
- ☐ 既採用医薬品と同一成分、類似剤形でないこと
- ☐ 既採用医薬品との名称類似品、外観類似品の有無について検討されていること
- ☐ 規格間違い防止など使用上・保管上の注意事項が検討されていること
- ☐ 複数の規格がある場合は、規格を統一すること
- ☐ 既採用医薬品との入れ替えにより経済効果が期待できること
- ☐ 新規採用医薬品と同効・類似薬を削除すること（1増1減）
- ☐ その他（ ）
- ☐ なし

②-3 抗がん剤を他の薬と区別（差別化）して管理していますか？

- ☐ 区別（差別化）していない
- ☐ ハイリスク薬として区別（差別化）している
- ☐ 一般薬やハイリスク薬とも区別し、より重点的な管理が必要な薬として区別（差別化）している
- ☐ その他（ ）

【③抗がん剤（ホルモン剤に分類されるもの除く）の常備配置についてお伺いします。】

③-1 薬剤部門以外に常備配置している抗がん剤はありますか？

☐ ない（薬剤部門以外の常備配置は禁止）

☐ ある（→設問③-3 へ）

※ドキシソルビシンなどの膀胱内注入、あるいは、エピルビシンやシスプラチンなどの肝動脈注入などの局所投与も含みます。

③-2 「ない」を選択した方に伺います。その理由をお答えください。

また、常備配置をさせない工夫があればお答えください

（
）

（→設問⑤-1 へ）

③-3 「ある」を選択した方にお伺いします。常備配置している抗がん剤の種類をお答えください。

☐ 内服

☐ 注射

☐ その他（薬品名：
）

③-4 「ある」を選択した方にお伺いします。常備配置している部門はどこですか？（複数回答可）

☐ がん化学療法治療室

☐ 放射線部門

☐ 外来

☐ 病棟

☐ 手術室

☐ 救急室

☐ ICU

☐ CCU

☐ NICU

☐ NCU（SCU）

☐ 内視鏡部門

☐ 血管造影室（アンギオ室）

☐ カテーテル室

☐ その他（部門名：
）

③-5 「外来」を選択した方にお伺いします。常備配置している科・部門名をお答えください。

（
）

③-6 「病棟」を選択した方にお伺いします。主に常備配置している診療科をお答えください。

()

③-7 薬剤部門以外に常備配置している理由をお答えください。

()

③-8 常備配置する場合の要件、基準や制限などのルールはありますか？

☐ ない

☐ ある

(具体的な内容:)

③-9 常備配置をさせない工夫があればお答えください。

()

③-10 常備配置を許可する委員会はどこですか？ (複数回答可)

☐ 薬事委員会・審議会

☐ 医療安全委員会

☐ 倫理委員会

☐ 化学療法委員会

☐ その他

()

☐ ない

③-11 委員会で許可する場合の基準はありますか？

☐ ない

☐ ある

(具体的な内容:)

③-12 常備配置の際の管理者は決まっていますか？

☐ 決まっていない (→設問③-14 へ)

☐ 決まっている

③-13 「決まっている」を選択した方に伺います。それは誰ですか？

☐ 医師

☐ 看護師

☐ 薬剤師

☐ その他 ()

③-14 常備配置する際の管理方法についてお伺いします。(複数回答可)

☐ 施錠して管理している

☐ 専用の金庫を用いて管理している

☐ その他(上記以外の管理方法:)

☐ 特になにもしていない

③-15 常備配置する際の点検についてお伺いします。

☐ 特に点検はしていない(→設問③-18へ)

☐ 定期的な点検をしている

③-16 「定期的な点検をしている」を選択した方に伺います。どのように点検していますか?

(複数回答可)

☐ 定数を確認して記録簿に記録している

☐ 点検は看護師が行っている

☐ 点検は薬剤師が行っている

☐ 点検は看護師と薬剤師が同時に行っている

☐ 点検は看護師と薬剤師が別々に行っている

☐ その他()

③-17 「定数を確認して記録簿に記録している」を選択した方にお伺いします。記録の頻度をお答えください。

☐ 毎日

☐ 週1回

☐ 月1回

☐ その他

()

③-18 常備配置する際の表示や置き方の工夫について何かあればお答えください。

()

【④常備配置している抗がん剤の準備についてお伺いします。】

④-1 抗がん剤の調製・混合は誰がしますか。(複数回答可)

☐ 医師

☐ 看護師

☐ 薬剤師

☐ その他()

④-2 混合調製を行う際の安全対策はありますか？（複数回答可）

- ☐フル PPE で調製・混合・投与している
- ☐一部 PPE で混合調製・投与している
- ☐N95 マスク
- ☐サージカルマスク
- ☐ゴーグル・フェイスシールド
- ☐ガウン・エプロン
- ☐手袋
- ☐抗がん剤耐性試験済みの手袋
- ☐閉鎖式薬物移送システムを利用している
- ☐混合調製時の曝露対策も含め所定の混合調製の講習・試験・実習などを取扱いの要件としている
- ☐その他（安全対策も含め、上記の補足や追記があれば具体的な内容）
- ☐特にない

④-3 抗がん剤を調製・混合する職員についての教育・資格・権限についてお伺いします。（複数回答可）

- ☐e-Learning、研修会の受講、試験の実施なども含めた取扱いの要件を設定している
- ☐その他（）
- ☐何もしていない、または取扱い要件は設定していない

④-4 常備配置の抗がん剤を使用する際の安全対策についてお伺いします。（複数回答可）

- ☐カルテと照合できるシステムを導入している
- ☐処方せん以外の指示書がある
- ☐クリニカルパスを利用している
- ☐抗がん剤のバーコードを利用する
- ☐2 名以上で抗がん剤の薬品名を呼称する
- ☐その他（）
- ☐何もしていない

【⑤抗がん剤の投薬プロセスに関する安全対策についてお伺いします。】

⑤-1 抗がん剤治療の内容を審議する委員会はどこですか？（複数回答可）

- ☐薬事委員会・審議会
- ☐医療安全委員会
- ☐倫理委員会
- ☐化学療法委員会
- ☐その他（）
- ☐ない（→設問⑤-4 へ）

⑤-2 上記委員会の構成メンバーについてお伺いします。(複数回答可)

☐医師

☐看護師

☐薬剤師

☐事務職

☐その他医療専門職 ()

⑤-3 上記委員会の開催頻度についてお伺いします。

☐月 1 回

☐その他 ()

⑤-4 取扱いなど抗がん剤関連業務に関する教育・資格・権限についてお伺いします。(複数回答可)

☐e-Learning、研修会の受講、試験の実施なども含めた医師のオーダー権限・資格要件を設定している

☐e-Learning、研修会の受講、試験の実施などによる看護師の取扱いの限定・要件を設定している

☐e-Learning、研修会の受講、試験の実施などによる薬剤師の取扱いの限定・要件を設定している

☐取扱いなど抗がん剤関連業務に関して、特別な限定・要件を取り決めていない

☐その他(安全対策も含め、上記について補足や追記があれば具体的な内容)

⑤-5 電子カルテ・オーダーリングシステム(医薬品マスタ)についてお伺いします。(複数回答可)

☐電子カルテ・オーダーリングシステム未導入(→設問⑤-7へ)

☐レジメンオーダー(通常の注射オーダーとは異なる抗がん剤専用のオーダーリングシステム)を使用している

☐電子カルテの注射や処方オーダーを利用してオーダーセットを組んで投与方法を標準化している

☐電子カルテを利用してテンプレートを作成して投与方法を標準化している

☐クリニカルパスを利用している

☐その他 ()

⑤-6 電子カルテ・オーダーリングシステムによる抗がん剤オーダーの安全対策についてお伺いします(複数回答可)

☐投与速度制限

☐投与量上限設定

☐投与間隔制限

☐抗がん剤以外の薬剤との相互作用チェック

☐検査値のアラート表記

☐体重増減のアラート表記

☐内服抗がん剤も同時にオーダー可

- ☐アントラサイクリン系抗がん剤などの累積投与量制限
☐その他（上記以外に安全対策に補足や追記があれば具体的な内容）

⑤-7 処方時の安全対策についてお伺いします。

- ☐紙面を用いたレジメン（プロトコル）を作成して投与方法を標準化している
☐紙面を用いたクリニカルパスを利用している
☐その他（）

【⑥注射用抗がん剤の混合調製についてお伺いします。】

⑥-1 薬剤部門あるいは薬剤師の混合調製への関わりについてお伺いします。

- ☐すべて薬剤師が混合調製している（→設問⑥-3 へ）
☐一部、薬剤師の関与のない混合調製がある
☐その他（）
（→設問⑥-3 へ）

⑥-2 「一部、薬剤師の関与のない混合調製がある」を選択した方にお伺いします。それはどのような場面、あるいは抗がん剤ですか？（複数回答可）

- ☐休日・祝日
☐揮発性以外の抗がん剤
☐毒薬以外の抗がん剤
☐その他（）

⑥-3 混合調製の環境整備、曝露防止対策についてお伺いします。

- ☐生物学的安全キャビネット（BSC）の利用（→設問⑥-4 へ）
☐N95 マスク
☐サージカルマスク
☐ゴーグル・フェイスシールド
☐ガウン・エプロン
☐二重手袋
☐無菌調製用封じ込めアイソレーターの利用
☐閉鎖式薬物移送システムを利用している
☐特になし

☐ クラス I
☐ クラス II
☐ クラス III
☐ 不明

⑦-1 抗がん剤の盗難、紛失対策があれば記載してください。

☐ない (→設問⑦-4へ)
☐ある

☐ 薬剤部
☐ 医療安全管理室
☐ 臨床研究管理部
☐ その他（ ）

☐ない (→設問⑦-9へ)
☐ある

☐がん看護専門看護師 ☐がん化学療法看護認定看護師 ☐がん薬物療法認定看護師
☐がん放射線療法看護認定看護師 ☐がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）
☐がん専門薬剤師（日本医療薬学会） ☐がん指導薬剤師（日本医療薬学会）
☐外来がん治療認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）
☐外来がん治療専門薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）
☐その他（具体的な資格名称：
☐ない

⑧このアンケートの内容全体を通して補足説明や特記すべきことがございましたら、どのようなことでも結構ですのでご記入ください。(自由記載)

- ・システムや製剤の採用、現在の管理体制に至った経緯
- ・貴院での取り組みや工夫していること
- ・困っていること

など

()

フェイスシート

【回答者の所属する病院の情報】

1. 都道府県

2. 病床数

100床未満

100床～200床未満

200床～300床未満

300床～400床未満

400床～500床未満

500床～600床未満

600床以上

3. 病院の機能

特定機能病院

特定機能病院以外の高度医療・三次救急を担っている病院

急性期医療中心の病院

慢性期医療中心の病院

回復期リハビリ中心の病院

精神科中心の病院

緩和ケア中心の病院

その他

【回答者の情報】

1. 職種

医師

薬剤師

看護職（保健師・助産師・看護師）

診療放射線技師

臨床工学技士

臨床検査技師

リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

事務職

その他（ ）

2. 医療安全に関する役割（*）

専従

専任

兼任

その他（ ）

*

専従：医療安全業務に従事する時間の割合が8割以上

専任：医療安全業務に従事する時間の割合が5割以上

兼任：医療安全業務に従事する時間の割合が5割未満

3. 回答者氏名

4. 回答者所属施設名

5. 回答者連絡先（e-mailアドレス）

以上です。ありがとうございました。

ご記入いただいた個人情報については、当機構の個人情報保護方針に基づき、安全かつ、適正に管理いたします。